



## 『あいさつは思いやり：心をつなぐキャッチボール』



おはようございます。(おはようございます。)

今年初めての月曜朝会の挨拶、6年生の割り当ての人が事情でちょっと遅れました、その間に、先生から代わりの人が頼まれましたが嫌がらずに引き受けてくれました。結果的には割り当ての人が間に合いましたが、急のことでも責任をもって引き受けてくれた6年生、さすがです。ありがとう。

さて、今言ったように今日は今年度初めての月曜朝会。今、みなさんはつい前の月までとは違うところに当たり前のように並び、みんな1年進級しています。前にはいなかった転校生も増え、新しい先生もいます。6年生は卒業してそれぞれの中学校にかよい始めています。前当たり前のようにいらしゃった先生も違う学校でがんばっています。今日はまで月曜朝会には出てきていませんが、新しい一年生もちゃんと元気に学校に通って来ています。それこそぴかぴかの1年生から6年生です。

そして今いる人たちで力を合わせ、1年間当たり前のように力を合わせて、桃五小の仲間としてがんばっていくのです。

そこで、今日は、「あいさつは思いやり」という話をします。

始業式で、新学期もみんなで心をつなげて、『元気に、なかよく、たのしく』、力を合わせてたのしい1年を作ろう、自分も人も大切に、みんなでたのしくすごせるように、思いやりの気持ちを特に大切に1年間すごしていこう、という話をしました。

一人だけではなく、桃五のみんなが「元気に、仲良く、楽しく」すごしていけるようにしたいのです。

心も体も「元気に」、けがも病気もしないように目と耳と心を使って。

「なかよく」、すこしずつの我慢を出し合って自分も人も大切に、思いやりの心を大切に。

「たのしく」、自分のやりたいことを見つけて、できないことをできるように。

そんな、『元気をだして、誰ともなかよく、そしてたのしく』すごしていくためのスタート、大切な方法はなんだと思いますか。

それは、人を想う気持ちを伝える、心を含めた「あいさつ」です。

あいさつは、思いやり。相手の人の気持ちを考え、思いやり、声をかける。

毎朝、東門の外で、皆さんとあいさつしていると、いつの間にか皆さんの笑顔や、元気な声が心の中に入ってきて元気でいっぱいになるのです。

「おはよう」元気ですか、今日も一日どうかよろしく。元気がないよ、だいじょうぶ？

「さようなら」今日も一日ありがとう、また明日あいたいね。元気でいてくださいね。

「ありがとう」君のおかげです。感謝しています。これからもよろしく。

「ごめんなさい。」ついつい迷惑をかけてしまいました。これからは気をつけます。

このように、心を含めたあいさつには、相手の人への思いやり、いっしょになかよく頑張ろうという気持ちがこもっているものです。だから、一生懸命あいさつしていると、いつの間にか相手の人の気持ちも伝わってくるものです。

元気に、なかよく、たのしく、すごすための一番の近道、わかったでしょう。

元気な気持ちであいさつをしてみんなに元気を分けてあげる。相手の気持ちを大切に思いやり、あいさつすることでお互いにやさしく、なかよくなれる。心のこもったあいさつで勇気と元気が出てどんなこともできるようになるまでがんばれる。

だから、心を含めたあいさつは「元気に、なかよく、たのしく」すごすための桃五の子どものスタート、とっておきの魔法なのです。

心を含めて人を思いやり、すてきな「あいさつ」で、たくさんの人に元気を分けてあげてください。さあ、明日からどんなあいさつが聞こえてくるでしょう。